

バイバイ歯周病、こんには健康 歯周病で「歯なし」にならない話

歯周病とはどのような病気？

一言で言うと、歯を失う病気です。歯と歯茎の境目に付く歯周病菌による感染症である歯周病は、歯肉(歯茎)や歯槽骨(歯を支えている骨)が犯され、重症になると歯が抜け落ちてしまいます。また、インプラントであっても油断できません。インプラントで囲炎を引き起こし、インプラントをダメにしてしまいます。多くの人が歯周病になってしまったため、全世界で最も蔓延している病気としてギネス世界記録に認定されているほどです。

歯に限った病気かと思いきや、実は全身疾患と深く関わっています。糖尿病・動脈硬化・心臓病・呼吸器疾患・早産・流産などと関係しており、歯周病を治すとそれらの病気が改善され、健康になるということも分かっています。

健康な歯肉(上)に比べ、重度の歯周炎を患った歯肉(下)は赤く腫れ、歯を支える力が衰えてしまい、グラグラと今にも抜け落ちてしまいそう。



じわじわとあなたを蝕む歯周病

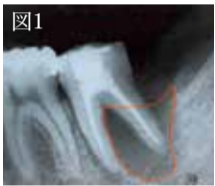
歯周病は、症状が進むまで痛みなどの自覚症状が少なく、知らないうちに重症になってしまいう恐い病気です。その種類は、30歳頃から自覚症状のないままゆっくりと進行する「慢性タイプ」と、若年者に発症して急激に進行する「侵襲性タイプ」の大きく2つに分けられます。ほか、妊婦さんがなる特殊な歯周病もあります。

歯周病の治療と予防法

状況をよくヒアリングしたうえで、歯茎の検査やレントゲンを撮るなどの検査を行います。また、歯周病原菌がいるかどうかの「リスク検査」も有効です。これには、歯周病原菌が出す酵素を測る簡易検査と、遺伝子工学的な精密検査の2つがあります。

歯周病原菌がいることが分かれば、さっそく退治にかかります。まず、ブラッシング指導や歯石除去、喫煙者には禁煙指導も行います。重症になってくると、薬を使ったり、手術や再生療法を行うこともあります。

歯周病は再発しやすい病気です。数ヶ月に1回1時間ほどかけて徹底的に歯周病菌を除去する歯科衛生士によるメンテナンスを受けましょう。インプラントの場合も同様です。



▲図1の赤い線で囲まれたところが、骨が失われたため再生療法が必要な部分。図2のように骨が健康な状態になることにより、抜歯をせずに自身の歯で過ごすことができる。

一生自分の歯で食べるには

歯周病菌が原因であることが分かって、今ではほとんどの歯周病が治るようになりました。専門家による歯周病菌の退治で、歯周病は完全に抑制できる。自分の歯で一生食べることができるといえることが証明されています。インプラントであっても同じことです。また、専門的な予防法もあるので、ほぼ完璧に予防できます。ただ、重症になればなるほど、治療に時間やコストがかかってしまいます。どうしても抜歯しなければならぬ歯も出てくることでしょう。知っていればならぬ、治る歯周病です。保険の適用範囲内で受けられる基本的な治療と、保険のきかない高度先進医療などによる治療があります。後悔してしまう前に、早めに専門家に相談しましょう。



医療法人 くのうえ市丸歯科
院長 市丸 英二先生

長崎大学歯学部大学院卒業後、米国スタンフォード大学医学部研究員を務める。歯周病に関する国際的な論文発表などを重ね、日本歯周病学会認定専門医・指導医、日本口腔インプラント学会インプラント専門医として活動中。

TEL.0942-81-5410 住/鳥栖市蔵上2丁目187番地
URL www.10shika.jp/index.htm

医療法人 くのうえ市丸歯科



院長 市丸英二 (歯学博士)
・日本歯周病学会認定 歯周病専門医・指導医
・長崎大学大学院 (歯周病学) 卒

副院長 山口竜亮 (歯学博士)
・長崎大学大学院 (歯周病学) 卒



お問い合わせ・ご予約
☎0942-81-5410
鳥栖市蔵上2丁目187番地

月 火 水 金 10:00~13:00 / 15:00~19:00
木 10:00~14:00 土 9:00~13:00
年末年始のお休み: 12/30~1/4

くのうえ市丸歯科 検索 <http://www.10shika.jp/index.htm>